



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.14 June 10, 2009

- ジョークの心得三か条:
1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
 2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
 3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

ふざけ環境の心地よさ

長谷川真弓



宅配で段ボール箱が届く。あえこ、わらび、みずなどの秋田の春山の幸がぎっしり。今年もお嫁さんと取りに行ったという母の手紙と、姪が撮った満面の笑みをたたえた母

(94歳)の写真が添えられていた。

早速電話で、この写真の主は驚くほど美人だと伝える。母はすかさず、それは当然だ、四人の娘たちに美貌を分け与えたからすっかり空になったと思っていたが、実はそうではなかった、まだまだかなり残っている、と言った。

いつだったか、我が家にやって来たお嫁さんたちが二人ともなかなかの好人物であるのを周りから褒められたときも、「自然の成り行きね。いいのを四人も外に出していますから」と切り返した。その四人のうちの一人が私、ということになる。

振り返ってみると、私は母みたいなふざけた大勢の輩に囲まれて生きてきた。神妙にしようとしたところで15分くらいしか持たない自分としては、極めて心地よい環境ではある。

今は亡き父は、日本の歴史の最大の失敗の一つはNHKが秋田弁ではなく関東地方の方言を採用したことだ、とよく言っていた。東京弁を操れない秋田人を小馬鹿にするような人間を見るたび、逆を考えて噴き出すのだそう。あいつら「さしすせそ」を正式な秋田弁で言えるだろうかと思うだけでも、「けっけっけっ」と愉快的気分になるという。

私が高一で退学し、転学先の県立高校から拒否されたとき、父は、「それは好都合だ。家でセメントでもかついでいる。学校が人をつくるとでも思ってたか」と言った。ちなみに我が家は当時プロパンガスとセメントを商っていたので、私は、放課後はスパナを片手にオートバイでガスボンベを配達していた。蛇足だが、学校問題は二転三転して復学とあいなつた。

あるとき知人がゆでダコのように怒って我が家にやってきた。だれかに「ンガダ(この馬鹿野郎一秋田の方言)」と言われ、かっかしたのだという。父は、それは怒るに値しない、むしろ尊敬の最上級だ、つまり「御方様」の音便形だからとなだめていた。その結果、ゆでダコが覚めたタコになったかどうかはよく覚えていない。

バンクーバー時代の、近くの郵便局のおばさんも忘れられない。ある日 NKK-Dofasco National Steel 関連で、「マックリーン」という雑誌に家族が写真入りで紹介された。そんなことは死ぬまでに二度とないことだから、スーパーで買いまくり、日本の親戚に送ろうとどきと郵便局に持ち込んだ。「今週の『マックリーン』にうちらが載ってるんだ」と言うと、「いったいどんな犯罪を引き起こしたの？」と彼女に聞かれた。「どうして、それを知ってるの？」と私は答えた。

今月のジョーク

'Where is your mother from?' 'Alaska.'
'It's all right, I'll ask her myself.'

第 14 回研究発表会

Stand-Up Comedy の研究

花岡 蔚

ジョークは楽しむものであり、決して「常苦」では無い筈です。しかし日本語を母国語として
いる私たちにとり「英語のジョーク」は気楽に
楽しめる、というより「落ち」を理解するまで
「常に苦しい」ものかもしれません。

文章で表現されているジョークであればまだ
しも、英米豪（エイエイオーならぬエイベイゴ
ー!!）人などによる語りのジョークを楽しもう
とすれば、英語の語彙に加えて訛り、方言、slang
だらけの語りを聞き分ける、かなりのヒヤリン
グ能力が求められます。

更に本当に笑えるためには上品から下品まで
(といっても 99%超下品ですが)多岐に亘る社
会問題(麻薬・売春・犯罪などなど)について、
彼・彼女等と意識を共有できる事も必要です。

私も遠い昔から近い今年の 2 月まで、いつの
日かスタンドアップコメディアンを現地の観客と
同時に笑い、楽しみたいものと思っておりまし
た。「英語のジョークを楽しむ会」に入会した動
機もまさにこの為でした。

苦節 30 年、私の努力と技術の進歩のお陰で
この程この夢が実現する事になったのは、誠に
喜ばしい限りです。

私の努力とは、即ちアメリカはニューヨーク
まで Stand-Up Comedy の DVD を買いに飛ん
で、探し回った努力であり、技術の進歩とは人
気コメディアン(女性の場合はコメディエヌ)
による Stand-Up Comedy の DVD(一部のもの
に限られますが)に英語の Subtitle が付くとい
う技術革新です。

この技術のお陰で、コメディアンの語りが字
幕で読めるという夢物語が実現する事になりま
した。(尤も字幕は、現地の耳の不自由な人達の
ためのもの、なのでしたが)

我々も英語字幕を速読する訓練さえ積めば、

今や現地の観客とほぼ同時に一緒に笑い、楽し
める時代になったのです。

分からない語彙は一時停止をかけてじっくり
「字引く書なりい」や、「わからネット」で検
索すれば何とか理解できます。

今回のコメディアン研究が私にとって何より辛
かったのは、誕生以来使った事は勿論、聞いた
こともない、下品極まりない 4 文字語 (fu~k、
Sh~t、Mo~er fu~er、Co~k su~er など)
のオンパレードに、耳を傾け続けねばなら
なかつた事でした。

そうして気づいた事は、子供の間で昔「ノサ
言葉」というのが流行しましたが、英語で同じ
ような箇所に「ノサ」ではなく「Fu~k」を挟
むとああ言った表現になるんだな!という発見
です。

つまり「放つといて呉れ」は「ノサ言葉」で
「ほのさつといてくれ!」ですが、英語では
‘Leave me Fu~k alone!’ となります。4 文字
語が聞こえたら「ノサ」と思え! このアメリカ
大陸発見に次ぐ発見(?)を経て、どうにか研究
発表の準備が一応完成した次第。

Stand-Up Comedy の歴史は 19 世紀後半に
遡ります。舞台の小道具はストール 1 脚、マイ
クスタンド、コップに入った水の 3 種類のみ。
駄洒落の連発と言うよりは、政治・社会や日常
生活、夫婦生活などを注意深く観察した中での
滑稽さ加減を、身振り手振りを交えて語り観客
の共感呼び起こして、笑いを誘うと言うもの
が主体です。時代と共に紆余曲折がありまし
たが、今日では全世界に拡がりを見せているジャン
ルです。

今回は、アメリカの超人気者 **Richard Pryor**
(1940-2005)の公演ライブを鑑賞することにし、
幾つかの話題の中からこの種のコメディアンで典
型的な話題である、1) sex、2) 黒人差別問題、3)
麻薬、4) マフィアの体験談、を選んで鑑賞する
ことにしました。

Stand-Up Comedian の日本版は、さしずめ
「道路工事綾麻呂お」ならぬ「綾小路きみまろ」
などなのでしょうが、彼らのトークの英語版は
ありません。

そこで Sit -Down Comedy(?)ともいえる落
語の中から、英語落語で有名な桂枝雀(1939-99)

の「驚とり」を、途中まででしたが鑑賞することにし、日本の落語の素晴らしさ、そして Stand-Up Comedy との類似点についても確認・納得いただく事にしました。



両者とも一人で行う話芸ですから、一人何役も演じるという点、しかも舞台には大道具もなく、演者が観客の想像力を掻き立てそれを借用しつつストーリーを進行・展開させていくと言う手法は共通です。

洋の東西を問わず技巧・話術の粋を必要とする、誠にチャレンジング且つ究極のコメディショーの1ジャンルと言えます。

会員各位には副作用として、麻薬に関する種々の隠語表現 (Crack, weed, Freebase,) などついでに学ぶことが出来たことと、およろこび申し上げます。

第14回研究発表会

第2回ジョーク・バトル観戦記

草野 淳

鬼デスクの佐川さんから、ジョーク・バトルの観戦記を運営・改善点などを中心にまとめてほしい、との命が突然にくんだり、困惑しました。その気で観戦していたわけではなく、おまけに3月初回早々から欠席したくせに差し出がましくて。

でも率直な印象では、初参加の期待感を裏切られた感じでした。あまりに静かで肅々たるバトルだったからです。

出題の英文ジョークがスクリーンに映し出されると、ジャッジの方々はしばし無言のまま食

い入るようにパンチラインを読み取る作業に専念。もちろんそこはその道のベテランぞろい、やがてあちこちからクスクス笑いがもれ聞こえたり、ウン、ウンとうなずく様子も。

それにしてもこれでは、私がかつて若い頃ニューヨークで通学体験した移民のための英文速読学校の、あの時の雰囲気ではないか。

せっかく今回からルールを改定して出題者自らの売り込みを許すことにしたのだから、「この話の落ち、このセンス、どうだ参ったろう！」とひとくさり自慢でもしてみせ、もっともっと賑やかに展開してはどうだろう。

ジャッジの方々も、そっと手を挙げて意思表示するだけでなく、「ここんところがミソさ」「ちょっといただけないね」などと遠慮なくやり合って、活気に満ちたホット・バトルにしたらいのに…。

それでも今回、「クリントン元大統領はひょっとすると両刀使いで、近づけておくと自分だけでなく夫のオバマ大統領までが襲われるのではないか」とミシェル夫人は一番心配しているのさ、という解釈までしてみせる出題者の深い読み(?)に一同フーンと感心。

もしかして、ニューヨーク暮しの長かった出題者御自身に危ない思いをしたトラウマでもおありなのか。

そうかとおもえば、ゴルフのホールインワンに気を回し過ぎ、ズボンのどこに穴が開くのが肝腎、とまで平然と論議する女性ジャッジにその場が湧くひとコマも。こんなあっぱれな女史にこそ、セクハラ過敏症候群の世直しを頼みたいくなりました。

いや、好き勝手に御託ばかり並べていると、次回でどなたかに靴を投げつけられる羽目になるかもしれませんのでこの辺で。

なお、出題作と得票数は、今月の JOKE BATTLE SUPPLEMENT に掲載されています。

総合点で白組の勝ち、Best Joke 賞は、またも当会の宮本代表(白組キャプテン)出題の6番に。「これは間違いなくいけると思ってた」と胸を張って、幸せそうでした。⇒6番のイラスト



大塚英語教育研究会での 「公演」

安藤 雅彦

1) 経緯：大塚英語教育研究会（以下「大塚」）の豊田一男会長より、例会の講師の派遣依頼があった。運営委員会は、人選に悩んだ。と言うのも、「大塚」の会員のほとんどが現役の教員と元教員であり、本会の会員でもある豊田さんを除いては、「まじめな人々」である。

そこで、講師が「艶物」の相原さんでは、刺激が強すぎるのは明らかだ。そもそも本会には、「大塚」のまじめ度に対応できる人材は居ないのだ。となるとところだったが、そこで天の声「唯一の例外は安藤さんでしょう」があった次第。

2) 公演の内容：5月9日に茗荷谷の筑波大学の会議室（由緒ある旧東京教育大学英文科図書室）にて、“JIE, Jokes in Education”につきプレゼンをした。JIEはNIE=Newspaper in Educationをもじった自家製の頭字語で、ジョークを英語教育のツールとして使うこと。

もしこれが実行可能な提案なら、JIEに適したジョークとはどんなものか、五つの評価基準（試案）とジョークの実例を紹介した。

- ① 語学レベルと文化レベルで理解可能。
- ② 語彙、文法、文化など英語教育上の意義。
- ③ クリーン。
- ④ 短い一生徒にかかる負荷を少なく。
- ⑤ 和訳不能が望ましい（英語でないと笑えない→英語学習の動機になる）。

3) 感想：オーディエンスからの反応がけっこうあり、双方向的なセッションにはなった。しかし、ジョークは単語や句の多義性を利用するのに対し、教室では正しい解釈はひとつである。また、教室では繰り返しが大切だが、ジョークは一過性のものである、などなど、ジョークと学校教育は水と油か？

本会の趣旨と例会の日時のPRをしたが、残念、とりあえず効果はなかったようだ。本会の佐川さんが応援にきてくれて、心強かったし、異文化の人々と交流できたのは有意義だった。

社会人の英語研修にはジョークは使えるだろう。

第15回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：7月18日（土）午後2時～4時
- 会場：平河町 Dover Room（クオリティ株式会社6階会議室）
（東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル）
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。詳しくは、
<http://www.quality.co.jp/> で。
- 発表者：
宮本倫好 会員
「歴史を笑い飛ばす—古川柳と historical jokes の比較」
- 第1回ジョーク・コンテスト
司会—相原悦夫 会員
- 参加費：会員・非会員とも500円
- 研究発表会終了後、近くの喫茶店で交流会を開きます。こちらにも、どうぞご参加ください。
問合せ先：renraku@eigojoker.com

第1回ジョーク・コンテスト出題作品募集

- 要領：
 1. 出題は、原則として一人一題とします。
 2. 長さは、原則として50語内外とします。
 3. 必要と思われる場合には、「笑いのツボ」を付記することも可能です。（適宜、MCがご披露します。）
 4. 当日出席できない会員でも、応募することができます。
- 宛先：mmsagawa403@s6.dion.ne.jp
- 締め切り：6月30日（火）

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会会報 第14号

発行日：2009年6月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5

平和第一ビル クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com